

序

本学には多数の美術工芸品が所蔵され、附属図書館において所掌されています。それらは本学工芸学部の前身である京都高等工芸学校時代に広く国内外から収集されたものが大部分であり、これに教官や卒業生の作品や本学ゆかりの方々からの寄贈品が加えられ、その数、一万数千点に及んでいます。内容も絵画、版画、金工、漆工、陶磁器、染織、風俗資料など多岐にわたっており、芸術的、学問的、歴史的価値に富むものが多数含まれています。

これらの美術工芸品は、旧京都高等工芸学校時代には全校生の美術工芸教育の教材として活用され、この分野の多くの人材を育成する要因になったと伝え聞いています。

学制改革後の本学の発展の方向は多分に工学に傾きましたが、なお伝統的なこの分野に携わる教官・学生も多く、それらの方々の研究・教育資料として活発に利用されているほか、学外からの展覧者や全国の美術館などへの出陳も少なくありません。これらの関心の深い方々の便宜のためと、広く本学学生の人間形成の一助のため、本図書館では常設展示館建設を祈念していますが、その計画を進める機会に、従来各方面から要望の強かった所蔵品目録を刊行することにいたしました。

本目録が大方の方々の一層の関心と理解を深め、研究・教育に少しでもお役に立てば幸いです。ただ今回の目録では、単に品名を列挙するにとどまり、解説図録などの刊行は今後の課題として残ることになりました。また記載内容その他の不備不完全の責はすべて館長の負うものでありますが、同時に広く識者の御叱正をお願いする次第であります。

なお所蔵品の保存整理などについて、本学元非常勤講師藤井守一氏や、本学意匠工芸学科の各教官から適切な御助言御指導をいただきました。また本目録の刊行に当っては所蔵品原簿の整理から現品の照合、原稿作成に至るまで本図書館事務長友石正氏の御尽力を得ました。これらの方々に深甚の謝意を表するものであります。

昭和49年3月

京都工芸繊維大学附属図書館長 平 瀬 進

第2版 序

本学所蔵の美術工芸品目録が刊行されてから、2年経ちました。その後も整理に意を用いておりますが、数点の追加をして、ここに第2版を刊行する運びになりました。不備不完全な点はなお日時をかけて改訂してゆき、作品についての記述もできるだけ盛りこんで充実してゆきたいと願っております。

昭和51年8月

京都工芸繊維大学附属図書館長 奥 田 進